

すすめよう災害に強いまちづくり

～強くて、しなやかな太田市へ～



市民・地域・市が一体
となって取り組もう!



太田市国土強靱化地域計画 概要版【市民版】

「国土強靱化」って何だろう？

「強さとしなやかさ」を備えた安全・安心な国土・地域・経済社会の構築を目指すもの

国土強靱化とは、災害に対する事前の備えとして、「起きてはならない最悪の事態」を念頭に置き、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず、迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた安全・安心な国土・地域・経済社会を平時から構築することを目指すものです。

●強靱化すると・・・

災害が起きたときの被害を最小化



復興する時にすみやかに回復する



太田市国土強靱化地域計画の策定

本市では、令和元年東日本台風（台風第19号）等により市内各所で浸水被害等が発生しました。また、今後30年以内に発生する確率が70%と予想されている首都直下地震や近年頻発する豪雨災害などに備え、防災・減災対策を急ぐ必要があります。

このことから、国が進める国土強靱化の考え方にに基づき、あらゆる災害に対応するため、ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせて施策を推進し、大規模自然災害が発生しても地域社会への被害が致命的なものにならず迅速に回復する「強さ」と「しなやかさ」を備えた「真に災害に強いまち」をつくるため、「太田市国土強靱化地域計画」を策定しました。

●令和元年東日本台風（台風第19号）被害状況



牛沢町 牛沢信号交差点 浸水状況



下田島町 石田川橋 越水状況

出典：令和元年東日本台風（台風第19号）【被害概要等報告書】（第2版）

国土強靱化の取組はどんなものがあるの？

国土強靱化の取組はとても幅広い分野にわたります。

行政だけでなく 企業・地域・個人での取組 やハード面だけでなく ソフト面の取組 も国土強靱化に含まれます。



太田市における国土強靱化に向けた基本的な方針

市の取組に当たっては、国や県、他自治体、民間事業者等の取組と連携して、総合的に推進することとします。

取組姿勢

- ・本市の強靱化を損なう本質的原因をあらゆる側面から検討しつつ、取組にあたります。
- ・長期的な視野を持って計画的な取組にあたります。

効果的な施策の推進

- ・人口の減少等を原因とする市民の需要の変化、社会資本の老朽化等、財政資金の効率的な使用による施策の持続的な実施に配慮して、施策の重点化を図ります。

適切な施策の組み合わせ

- ・ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせ、施策を推進します。
- ・「自助」「共助」及び「公助」を適切に組み合わせ、国、県、市民、民間事業者等が連携して取り組みます。

地域の特性に応じた施策の推進

- ・人のつながりやコミュニティ機能の向上など地域の環境整備に努めます。
- ・女性、高齢者、子ども、障がい者、外国人等に十分配慮して施策に取り組みます。

太田市国土強靱化地域計画の概要

地域を強靱化するための目標

国が定める国土強靱化基本計画や群馬県国土強靱化地域計画で掲げられた目標を踏まえ、「基本目標」及び「事前に備えるべき目標」を以下のように設定しました。

基本目標

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 市及び地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること
- ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ④ 迅速な復旧・復興

事前に備えるべき目標

- 1 直接死を最大限防ぐ
- 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する
- 3 必要不可欠な行政機能は確保する
- 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する
- 5 経済活動を機能不全に陥らせない
- 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる
- 7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない
- 8 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

地域の強靱化を推進するための対応方策

事前に備えるべき目標ごとに29項目の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を設定しました。また、リスクシナリオごとに、リスクを回避するために今後必要となる施策を検討し、対応方策として取りまとめました。

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）

【主なリスクシナリオ】

- ・地震等による建物被害等の大規模倒壊や火災による多数の死傷者の発生（二次災害を含む）
- ・気候変動の影響により大規模水害が発生し、広域かつ長期的な氾濫・浸水をもたらすことによる多数の死傷者の発生
- ・サプライチェーンの寸断やエネルギー供給の停止等による企業活動等の停滞 など

脆弱性の分析・評価及びリスクへの対応方策

【主な対応方策（ソフト対策）】

避難所の確保・指定、太田市防災マップの周知
自主防災リーダー等の育成、商工会活動の支援
要配慮者にも配慮した災害情報発信 など



【主な対応方策（ハード対策）】

住宅・建築物の耐震化、公園・緑地の整備
交通ネットワークの強化、消防力の強化
河川改修事業の推進、排水路の整備促進
上水道施設の耐震化 など



市民のみなさんに取り組んでいただきたいこと

太田市で想定される大規模自然災害を確認しよう！

太田市国土強靱化地域計画では、本市の特徴や過去に起きた災害も考慮し、地震災害（火災等の二次災害を含む）や風水害（土砂災害・雪害を含む）を対象としています。これらの災害が発生した際の被害の様相を確認し、平時から災害に備えておくことが大切です。

地震災害

過去にどんな被害が発生したの？

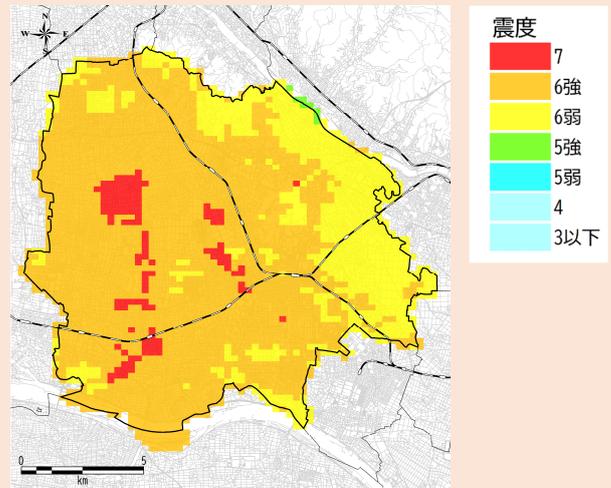
平成 26 年 9 月 16 日、茨城県南部を震源とする地震で、本市は震度 5 弱を記録し、市内で 64 棟、家屋等の屋根が一部損壊する被害がありました。



平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、本市は震度 5 強を記録し、人的被害や 2,000 棟を超える住家の被害がありました。

今後どんな被害が想定されているの？

群馬県地震被害想定では、太田断層による地震（M7.1）が発生した場合、震度 6 強～7 の揺れに見舞われ、死者は 754 人、全壊棟数は 14,555 棟、焼失棟数は 3,462 棟と想定されています。



また、近い将来の発生 of 切迫性が指摘されている首都直下地震が発生した場合、本市でも最大震度 6 強が想定されています。

※震度 6 強では、立っていることができず、はわないと動くことができません。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。

みなさんに取り組んでいただきたいこと

地震発生時に、自らの命を守るために何より大切なことは、壊れない家にする事です。そのために、あらかじめ耐震診断、耐震改修、家具の固定などを行いましょう。

また、火災による被害を軽減するために、感震ブレーカー、住宅用火災警報器、消火器を設置するなどの火災対策を行いましょう。

食料や生活必需品は、最低 3 日分（できれば 1 週間分）を備蓄しておきましよう。

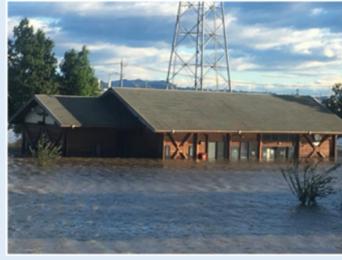


風水害

過去にどんな被害が発生したの？

○令和元年東日本台風

令和元年10月12日から13日未明まで広い範囲で雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい風により市内各所で浸水などの大規模な被害がありました。



○平成26年2月の大雪

平成26年2月14日から15日にかけて積雪量52.5cm（消防本部観測値）に達する大雪が降りました。家屋等の屋根などが一部破損する被害が2,858棟あり、その他、車庫や物置などにも多数被害がありました。



今後どんな被害が想定されているの？

○洪水浸水想定区域

利根川、渡良瀬川が氾濫した場合、地域の広い範囲が浸水し、**浸水の深さは最大5m以上、浸水の継続時間は4週間**となる地域があると想定されています。

この浸水により人的被害や停電などのライフライン被害が発生するおそれがあります。



○土砂災害警戒区域

市の北部から北西部の一部地域は**土砂災害警戒区域等**に指定されています。

土砂災害警戒区域等では、大雨等による**がけ崩れ**などの土砂災害が発生し、人的被害や建物被害が発生するおそれがあります。



みなさんに取り組んでいただきたいこと

太田市で起こりうる自然災害の想定情報や避難所一覧が掲載されている「**太田市防災マップ**」を確認しましょう。

また、大雨などによる被害が予想される場合は、**安全な場所へ早めに避難**しましょう。



ダウンロード
↓
はこちらから



強靱化チェックシート

「強さとしなやかさ」を備えた太田市をつくるためには、市民のみなさんの協力が欠かせません。ご家庭でできる取組の実施状況を確認してみましょう。

No.	チェック欄	取組内容
1	<input type="checkbox"/>	自宅の耐震性を確認し、必要な場合は補強している。
2	<input type="checkbox"/>	所有するブロック塀の点検・耐震化を行っている。
3	<input type="checkbox"/>	自宅や自宅周辺の浸水の危険性を太田市防災マップで確認している。
4	<input type="checkbox"/>	自宅や自宅周辺の土砂災害の危険性を太田市防災マップで確認している。
5	<input type="checkbox"/>	通勤・通学先や経路の危険性を太田市防災マップで確認している。
6	<input type="checkbox"/>	町内会や自治会に加入している。
7	<input type="checkbox"/>	自主防災組織活動や避難訓練に参加している。
8	<input type="checkbox"/>	3日分（できれば1週間分）の食料・飲料水を備蓄している。
9	<input type="checkbox"/>	おおた安全・安心メールに登録している。
10	<input type="checkbox"/>	感震ブレーカー・住宅用火災警報器・消火器を設置している。
11	<input type="checkbox"/>	地震・水害に対応した保険・共済に加入している。
12	<input type="checkbox"/>	空き家の適切な維持管理を行っている。
13	<input type="checkbox"/>	最寄りの避難所を確認し、実際に行ってみたことがある。
14	<input type="checkbox"/>	安全な地域に住む親戚・知人宅を避難先として検討している。
15	<input type="checkbox"/>	災害が起きた場合の家族との安否確認方法を決めている。

●おおた安全・安心メールに登録を！

おおた安全・安心メールでは、災害情報・防災情報・防犯情報などが配信されます。下記の方法からご登録をお願いいたします。

○メールアドレス：bousai.ota-city@raidan2.ktaiwork.jp

上記アドレスをメールの宛先に入力し、空メールを送信してください。

○2次元バーコード

右の2次元バーコードを読み取り、空メールを送信してください。



強靱化チェックシート

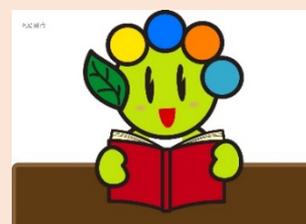
災害時でも経済活動を維持していくためには、事業者のみなさんの協力が不可欠です。職場内でできる取組の実施状況を確認してみましょう。

No.	チェック欄	取組内容
1	<input type="checkbox"/>	事業所の建物の耐震性を確認し、必要な場合は補強している。
2	<input type="checkbox"/>	オフィス家具の転倒防止、OA機器の固定を行っている。
3	<input type="checkbox"/>	事業所の浸水の危険性を太田市防災マップで確認している。
4	<input type="checkbox"/>	事業所の土砂災害の危険性を太田市防災マップで確認している。
5	<input type="checkbox"/>	事業所で火災が発生した際の避難訓練を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	事業所で帰宅困難者のための食料・飲料水を備蓄している。
7	<input type="checkbox"/>	事業所で簡易トイレを備蓄している。
8	<input type="checkbox"/>	停電時の代替電源を用意している。
9	<input type="checkbox"/>	おおた安全・安心メールに登録している。
10	<input type="checkbox"/>	火災警報器・消火器を設置し、定期的に点検を行っている。
11	<input type="checkbox"/>	事業継続計画（BCP）を作成し、平時から継続力向上の取組をしている。
12	<input type="checkbox"/>	地震・水害に対応した保険・共済に加入している。
13	<input type="checkbox"/>	災害時の安全確保や事業継続のために、近隣の企業と協力している。
14	<input type="checkbox"/>	空き店舗や空き事務所の適切な維持管理を行っている。
15	<input type="checkbox"/>	水害や土砂災害に備えた避難確保計画の提出・避難訓練実施の報告を市へ行っている（要配慮者利用施設）。

●太田市国土強靱化地域計画は市のホームページで公開されています。

検索または2次元バーコードを読みとって
太田市国土強靱化地域計画を見てみましょう。

太田市国土強靱化地域計画



太田市国土強靱化地域計画概要版【市民版】

2022年4月作成

発行・編集 太田市 総務部 危機管理室

太田市浜町2番35号

0276-47-1111（代表）